



2023年1月15日（日）、冒険学校で恒例となった冬の学習交流会がありました。

今回の講師は、カナダ国立自然博物館主任研究員の「恐竜博士」こと宮下哲人さん。首都オタワから14時間の時差をこえて、カナダという国の魅力をたっぷりと語りました。

当初は勤務する博物館からアクセスする予定でしたが、深夜0時という時間帯もあり、守衛さんに入れてもらえず、急遽、自宅からのお話しとなりました（そりゃそうでしょ！のつつこみあり）。



日本はお昼過ぎた午後2時から。17家族24名が参加して熱心に学習し、質問なども交えて大変有意義な交流になりました。詳細報告は別紙をお読みください。

講師からのコメント 参加者からいただいた質問にはZOOM終了後に丁寧なコメントが寄せられましたが、下記に一つだけご紹介します。

Q 人類はこれからも現れるであろうウイルスに勝てるか？

「勝つ」というのがどういうことなのかわかりませんが、個人的には「この程度ですんでいてまだ助かった」と思っています。何百万人も亡くなっているのに「この程度」とは不謹慎かもしれませんが、もっとひどいことになる可能性は十分あったし、これからもあるということです。このパンデミックを来る病原体を封じ込める予行演習だと思った方がいいかもしれません。だから「これからも現れる」未知の何かを正しく恐れるためには、今現在も進行中のパンデミックの行方をもう少し注視するべきだと思います。これはまだ終わっていないし、5年ぐらいのスパンで見て行った方がいいです。まだ3年、ようやく折り返したに過ぎないのに、みんな気が早すぎる。この3年間の経過をちゃんと覚えておいた方がいいです。

しばらく前にパンデミック初期のことをテーマに小説の草稿を読ませてもらっていましたが、登場人物が（北米のある町で）マスクをしていることをからかわれるのではないかと恐れていました。でも、パンデミックが始まった頃には、マスクは手に入れようと思っても手に入らなかったし、一部の良識のある人たちは、逆に買い控えるように呼びかけていましたね。高品質なマスクが品薄

で医療機関にまで回らなかったのが、素人が買占めて付け焼刃でつけるよりも、本当に必要な医療最前線に回さなければいけないと。だからそこは突っ込みを入れました。みんな多かれ少なかれ記憶の上書きをしていると思うけれど、これは歴史の教科書に乗る出来事です。ちゃんと生き延びて、正しく記憶して、生き字引になりましょう。

補講

ナイトミュージアム 恐竜博士が案内する カナダ自然博物館 ZOOM ツアー



1月に開催した学習交流会の補講です。13時間の時差（サマータイム開始）をこえて、カナダ自然博物館にリアルタイムで入館できます。裏側のバックヤード見学も？話題になった恐竜人間も見られるかも？

前回でられなかった人もどうぞご参加ください！

講師: **宮下哲人**さん

日時: **4月1日(土)**

20:00~21:30

×切: **3月29日(水)**

参加費無料

メールでお申し込みください。
のちほど招待メールを送らせていただきます。

申し込み: NPO法人 地球冒険学校準備会

〒192-0045 八王子市大和田町1-33-13

TEL/FAX: 042-646-0459

宮下方

<https://www.chikyubouken.jp/>

E-mail: bandana@js9.so-net.ne.jp